

がんばれ!!

ジュニア・リーダー



南國市子ども会連合会(坂本真三会長)では、子供たちの健全育成を目標に、さまざまな活動を行っています。育成者や指導者などが一体となったその活動は、県下でも高いレベルにあると評価されています。その中で中学生、高校生のジュニア・リーダーも、子供たちを直接指導するリーダーとして活躍しています。このほど、呉市のジュニア・リーダーと交流することになり、今それに向けて準備が進められています。

ジュニア・リーダーは、現在市内に五十人余り。研修を受け、市内各地の単位子ども会が行うキャンプや七夕会、クリスマス会などで、子供たちといっしょにゲームをしたり、テントの張

り方を教えたりと、子供たちのよきお姉さん、お兄さんとして活躍しています。

交流研修会の実施に向けて

そのジュニア・リーダーが八月二十四日から二十七日まで、

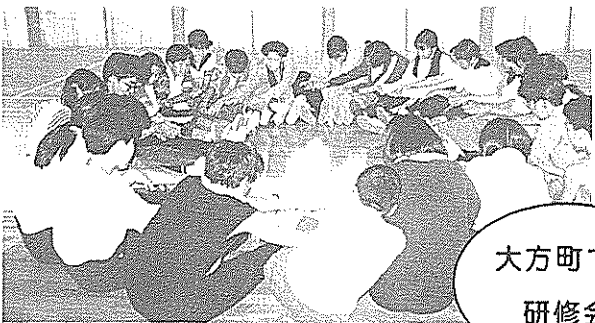


交流研修会に向けて、いかに作りにも精が出ます

三泊四日の日程で、広島県呉市のジュニア・リーダーと交流研修会を行うことになりました。

これは、呉市教育委員会が、毎年、中学生、高校生を他市に派遣して、その地域の生活や文化、教育、産業、青少年活動などを研修し、よりよい子ども会活動の原動力にしようとして実施しているもので、昨年県子ども会連合会を通じて申し入れがありました。

現在は、ともすれば非行に走る子供が多く、その対策が強く求められています。このような中で、南子連と市教育委員会は、社会教育の場におけるジュニア・リーダー活動の大切さをしっかりと身に付け、また、互いの違いを受け入れ、協調し合える寛容な心を持った人作り学習の場となるようにと期待し、この研修会の準備を進めています。



楽しいゲーム研修

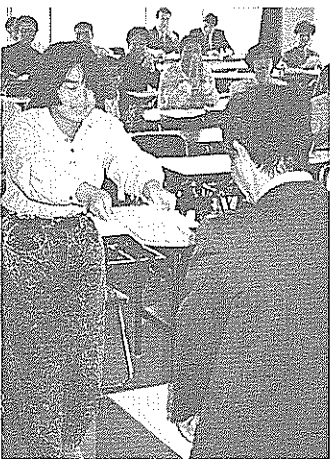
大方町での研修会



味はとろかな



お待ちかね、キャンプファイヤー



大方町での研修でテント張り

す。

市内には宿泊研修施設がないため、野市町の県立青少年センターを主会場に、国府、岡豊地区の史跡を回ったり、国分川をいかだで行くアドベンチャー・ハイキング、人形劇など、多彩な計画が立てられています。夏の照りつける太陽の下、真っ黒に日焼けして、たくましくチャレンジするジュニア・リーダーの歓声が今にも聞こえてきそうです。

研修などに、ある一定参加すると、ジュニア・リーダーの認定証が年一回の総会で授与されます。A級、B級、C級と級が上がるのに従い、自覚も大きくなっていきます。今後の活躍に期待!



ジュニア・リーダーとなった5年目、子供会の活動はとて楽しいと言っている会長の岩崎智



三代目会長、現在も指導者を手助けする専門委員として活躍している竹村義弘さん(西山)は、ジュニア・リーダーや指導

「ここ二年くらいの間に以前とは比べものにならないくらい成長した」と指導にあたっていらっしゃる船長道利運営委員さんは目を細めます。今年大方町の幡多青少年の家で行われたジュニア・リーダーの研修会では、すべて自分たちで計画を立て、プログラムをこなしたジュニア・リーダーたち。また、この呉市との研修会によって、成人指導者と青年指導者、ジュニア・リーダーが協力し合えるようになり、子供会の活動が以前のように活性化してきたと言います。

この時期に経験したことは、将来大きな財産になるはず。がんばれ!ジュニア・リーダー。

之君(大浦・小津高2年)は、「大方町でやった研修は、自分たちで計画から全部やって、スタッフの大切さなども分かり、すごく勉強になった。初めてで失敗も多く、みんなに迷惑をかけたが、これからもこんな研修をやって、今度は失敗のない研修にしたい」と話していました。

者に「子ども会活動がすべてではなく、人生の目標を達成する一つの過程であってほしい。指導者は常に活動が彼らのためになっているかを考えながら、活動しやすいようなバックアップを。また、家庭が安心して彼らを研修に送り出せるような体制作りも考える必要がある」と一言。